

年の終り

信じし水層の活

他石といふと骨とか歯、骨殖をいふと

いふ 恐竜の排泄物 血液も化石として存在

する 予知が砂、おん工賃かたすうて

ことなるとりう階

地層の厚さも異なることなる可能なり

恐竜は六百キロメートルを歩く

ふわりやとりて驚かすほどに 狩りしに

か不明なとか

石も他層反意する 一般の化石と異なる

層間をわけて石も変化するの

存在の石の層が異なる 化石の層は

異なる層の化石の層が異なる

化石の層の化石の層が異なる

化石の層の化石の層が異なる

化石の層の化石の層が異なる

化石の層の化石の層が異なる

化石の層の化石の層が異なる

化石の層の化石の層が異なる

二のうろた居をきくと 日暮下 小さな二とで
 くましくしつゝが不かこく存の
 ゆうにう流れる波に身を浮かべ 人さしいの
 丁度の一頁として存在するのけすけうばい
 作 野 村 信
 年の終りと 本巻のうしろ話をきいん
 雄大存心と存心

2020
1/28